

# 環境経営レポート 2024

“私たちは、CO<sub>2</sub> 排出ゼロを目指します”

期間：2023年12月～2024年11月

発行日：2025年1月31日



## 目次

1. 事業活動の概要
2. 対象範囲・対象期間及び組織
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境活動計画
6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み
7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果
8. 次期以降の活動について
9. 経営者による評価と見直し指示



**KYOKKO TSUSHIN SYSTEM**

## 1. 事業活動の概要

### 1) 事業者名及び代表者名

旭光通信システム株式会社 代表取締役 社長 酒井 元晴

### 2) 所在地

- ・本社 〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町 1-1 日本生命川崎ビル 5F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35  
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40  
第二工場 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アールビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0032 北海道札幌市中央区北 2 条東 1-2-10 北 2 条ビル 3F

### 3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 原 正行

連絡先 電話 0178-20-5540 (代表) FAX 0178-20-5569

URL <http://www.kyokko-tsushin.co.jp> E-mail [m.hara@kyokko-tsushin.co.jp](mailto:m.hara@kyokko-tsushin.co.jp)

### 4) 創立年月及び資本金

設立：1946年6月 資本金：2,520万円

### 5) 事業内容

各種情報通信装置、機器のシステム開発・設計・製造並びに工事

### 6) 事業規模

項目	単位	2022年	2023年	2024年
		2021.12.1~2022.11.30	2022.12.1~2023.11.30	2022.12.1~2023.11.30
工場延べ床面積	m <sup>2</sup>	2,430.46	3,646.98	3,646.98
従業員数	人	88	97	102

## 2. 対象範囲・対象期間及び組織

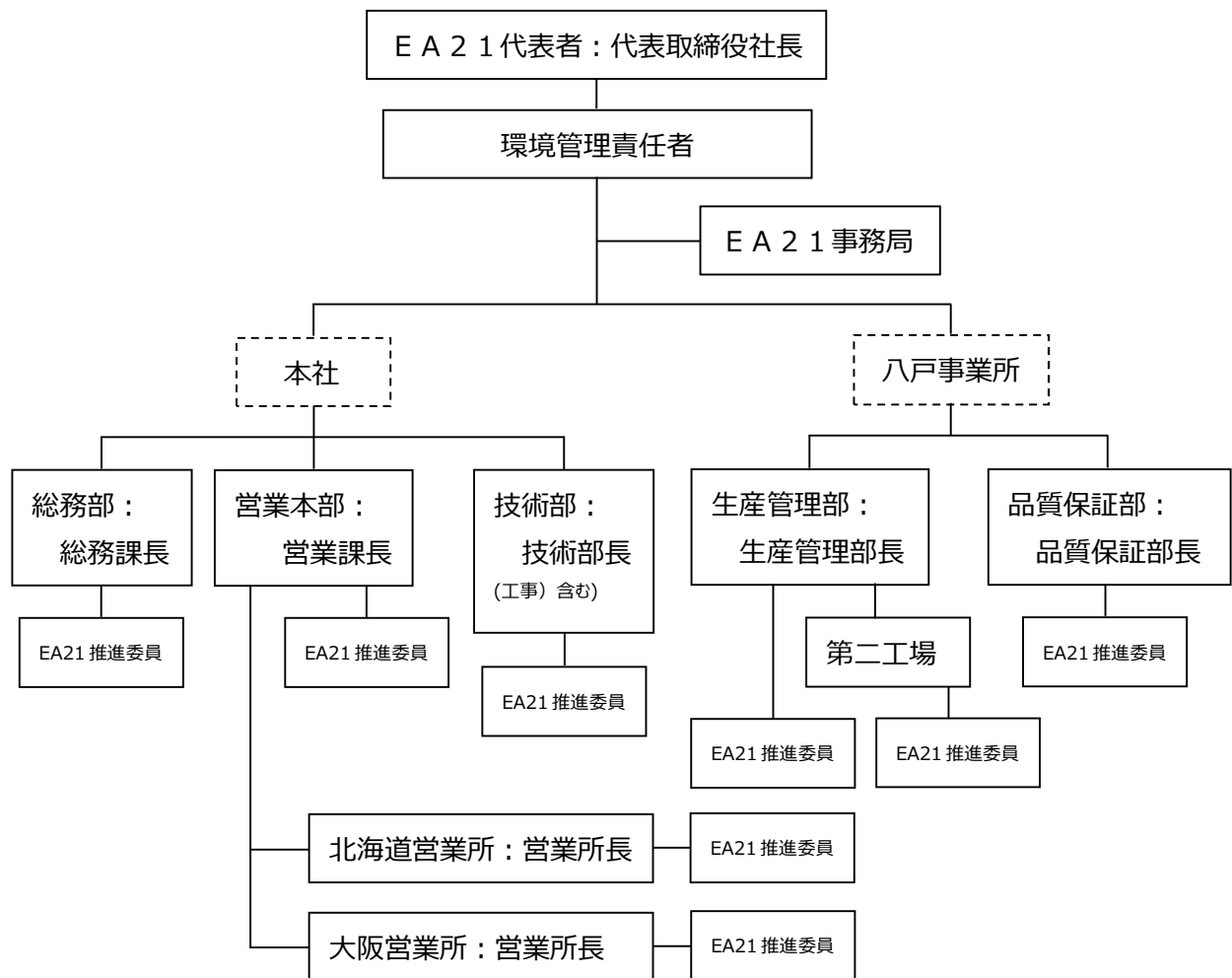
### 1) 対象範囲

- ・本社 〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町 1-1 日本生命川崎ビル 5F
- ・八戸事業所 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-35  
設計棟 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-40  
第二工場 〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地 2-100-6
- ・大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-3 NLC 新大阪アールビル 7F
- ・北海道営業所 〒060-0032 北海道札幌市中央区北 2 条東 1-2-10 北 2 条ビル 3F

### 2) 環境経営レポート 対象期間

2023年12月1日 ~ 2024年11月30日

### 3) 組織及び責任者



### 4) 責任と権限

組織の対象者	役割・責任・権限
社長	①環境経営方針を策定する ②効果的で必要十分な実施体制を構築する ③環境管理責任者を任命する ④環境経営目標及び環境活動計画を承認する ⑤環境経営システムの運用に必要な資源を提供する ⑥環境経営システムの評価および見直しを指示する ⑦経営における課題とチャンスの明確化を行う
環境管理責任者	①環境経営システムの構築、運用の責任と権限を有する ②運用状況全体を把握し、社長へ報告する
事務局	①環境経営システムの構築、運用に関して管理責任者を補佐する ②環境経営システムに関する記録を保持する ③外部内部からの問合せ、苦情等の窓口業務を行う
部門責任者	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関する活動を実行する ②環境管理責任者の指示事項を実行する
EA21 推進委員	①部門における活動状況の報告を行う ②部門での EA21 活動を推進する
従業員	①部門長からの指示事項について実行する

### 3. 環境経営方針

IAアクション 21

## 環境経営方針

#### 環境理念

環境保全が社会共通の最重要課題の一つであることを認識し、当社の経営理念に基づき環境に配慮した商品を維持、改善するとともに環境保全に努める活動に取り組む。

#### 基本方針

鉄道、道路関連分野での通信機器、システム等の情報連絡機器の設計、製造、販売並びに工事を事業の柱とし、以下の方針に基づいて環境経営を行う。

1. 環境負荷低減を図る為、環境経営システムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守する。
3. 環境負荷低減の為、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
  - 1) 省エネルギー（電力、化石燃料）を推進し、二酸化炭素排出量低減を図る。
  - 2) 廃棄物発生量の低減と3R（Reduce 削減、Reuse 再利用、Recycle 有効利用）を推進する。
  - 3) 資源の有効活用を推進し、水、紙の使用量低減を図る。
  - 4) 化学物質使用（シンナー）の適正管理を推進する。
  - 5) 環境負荷低減に関する改善活動を推進する。
    - ①環境配慮設計の推進
    - ②コストダウンV Eの推進
    - ③グリーン購入の推進
    - ④工程内仕損の低減
4. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境意識向上に努める。

制定：2019年12月1日

改訂：2022年12月1日

旭光通信システム株式会社  
代表取締役社長 酒井 元晴

## 4. 環境経営目標

### 4.1 中期環境経営目標

基準は2021年（76期）とする

取組項目	単位	部門	2021年実績 (基準)	2022年目標	2023年目標	2024年目標		
CO <sub>2</sub> 排出量削減	Kg-CO <sub>2</sub>	全体	193,790	153,225	209,799	205,149		
電力使用 量削減	*2 排出 係 数	0.441	Kwh	全体	315,298	300,956	335,451	327,772
		0.521		本社	31,491	31,176	30,862	30,546
		0.318		*1 八戸	279,734	265,747	299,260	293,275
		0.601		大阪	2,738	2,711	2,683	2,656
				北海道	1,335	1,322	1,308	1,295
ガリノ購入量削減	ℓ	全体	15,282	15,051	16,224	16,060		
		本社	9,535	9,439	9,344	9,249		
		*1 八戸	3,898	3,781	*2 5,068	*2 5,017		
		大阪	1,849	1,831	1,812	1,794		
灯油購入量削減	ℓ	八戸	1,439	1,410	400	0		
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,413	1,343	1,398	1,371		
		本社	383	375	368	364		
		*1 八戸	1,030	978	*2 1,030	*2 1,007		
産業廃棄物削減	Kg	全体	6,672	4,558	4,437	4,304		
		本社 工事含む	3,858	1,800	1,736	1,659		
		*1 八戸	2,814	2,758	2,701	2,645		
水使用量削減	m <sup>3</sup>	*1 八戸	620	614	614	614		
OA 紙購入量削減	枚	全体	290,000	284,200	278,500	272,500		
		本社	112,500	78,400	77,000	74,500		
		八戸	177,500	205,800	201,500	198,000		
化学物質購入量削減	ℓ	八戸	4	維持	維持 (トルエン 2L 以下)	維持 (トルエン 2L 以下)		
グリーン購入の推進	品目	総務	5	10 品目追加	グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入		
環境配慮設計の推進	件	技術	3	6	7	8		
仕損の低減	千円	生管	123	117	111	105		

\*1 八戸に第二工場を含む。

\*2 排出係数は、R4.1.7の調整後排出係数（本社は東京電力エナジーパートナー(株)、八戸は東北電力(株)、大阪は関西電力(株)、北海道は北海道電力(株)）を使用。

#### 【主な施策】

##### (1) 二酸化炭素排出量の削減

不使用時電力削減策の徹底、エアコンの運用管理、エコドライブの啓蒙、社有車の適正使用など

##### (2) 廃棄物排出量の削減

仕損/工場工程内不良の削減、3R 活動の推進、有価物への転換、ペーパーレス/電子化など

##### (3) 水使用量の削減

節水意識の喚起など

##### (4) 化学物質使用量の削減

トルエンレス剤への変更検討

##### (5) 環境改善

製品の環境配慮設計など

5. 環境経営計画

スローガン： 私たちは、CO<sub>2</sub>排出ゼロを目指します

No.	取組項目	取組む内容	日程	責任者
1	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの運用管理</li> <li>・クールビズ、ウォームビズの展開</li> <li>・循環扇/サーキュレーターの活用</li> <li>・本社移転縮小 ・エアコンの更新 (八戸)</li> <li>・浄化槽曝気プロアのインバータ化 (八戸)</li> <li>・太陽光発電の導入 (八戸第二工場)</li> </ul>	月度管理 (エコアクション21活動実施表による)	本社、八戸：総務部長 大阪、北海道：営業所長
2	ガソリン購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの啓蒙</li> <li>・社有車の適正使用</li> </ul>		本社、大阪：営業課長、営業所長 八戸：総務部長
3	灯油購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暖房機器の適正使用</li> <li>・エアコン暖房への切換え</li> </ul>		八戸：総務部長
4	一般廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別 (リサイクル) の推進</li> </ul>		本社、八戸：総務部長
5	産業廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rの推進</li> <li>・処理業者での分別推進 (本社)</li> <li>・有価物への転換 (八戸)</li> </ul>		本社、八戸：総務部長
6	水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水の啓蒙</li> </ul>		八戸：総務部長
7	OA紙購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミスコピー防止啓蒙</li> <li>・社内文書のペーパレス化の推進</li> <li>・電子化の推進</li> </ul>		本社、八戸：総務部長
8	化学物質購入量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルエン量の削減</li> </ul>		生産管理部長
9	グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入法適合商品の優先購入</li> </ul>		総務部長
10	環境配慮設計の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品点数の削減 ・小型/軽量化</li> <li>・環境へ配慮した仕様製品の提案</li> </ul>		技術部長
11	仕損の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕損不良削減策の実施</li> </ul>		生産管理部長




青字：2024年に見直した取組内容

6. 環境経営目標の達成状況と今後の取組み

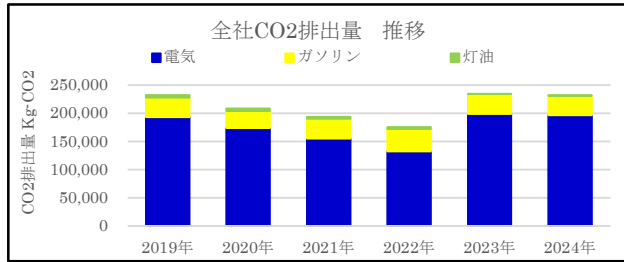
達成率での評価。評価：100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

取組項目	単位	部門	2021年実績(基準)	2024年目標	2024年実績	達成率%	評価
CO <sub>2</sub> 排出量削減	Kg-CO <sub>2</sub>	全体	193,790	<b>220,496</b>	<b>231,672</b>	95	△
電力使用量削減	排出係数	全体	315,298	<b>355,663</b>	<b>379,057</b>	94	△
		本社	31,491	<b>21,993</b>	<b>11,957</b>	184	○
		八戸	279,734	<b>328,100</b>	<b>361,230</b>	91	△
		大阪	2,738	2,656	<b>2,285</b>	116	○
		北海道	1,335	<b>2,914</b>	<b>3,585</b>	81	△
ガソリン購入量削減	L	全体	15,282	<b>16,060</b>	<b>15,126</b>	106	○
		本社	9,535	9,249	<b>8,168</b>	113	○
		八戸	3,898	5,017	<b>5,682</b>	88	△
灯油購入量削減	L	八戸	1,439	<b>0</b>	<b>90</b>	0	×
		大阪	1,849	1,794	<b>1,275</b>	141	○
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,413	<b>1,371</b>	<b>1,152</b>	119	○
		本社	383	364	<b>178</b>	205	○
		八戸	1,030	1,007	<b>974</b>	103	○
産業廃棄物削減 (本社は工事含む)	Kg	全体	6,672	<b>4,304</b>	<b>4,240</b>	102	○
		本社	3,858	1,659	<b>1,591</b>	104	○
		八戸	2,814	2,645	<b>2,649</b>	99.9	△
水使用量削減	m <sup>3</sup>	八戸	620	614	<b>635</b>	97	△
OA紙購入量削減	枚	全体	290,000	<b>272,500</b>	<b>258,000</b>	106	○
		本社	112,500	74,500	<b>80,000</b>	93	△
		八戸	177,500	198,000	<b>178,000</b>	111	○
化学物質購入量削減	L	八戸	4	維持	<b>4</b>	100	○
グリーン購入の推進	率	総務	-	グリーン製品の優先購入	338/639 (グリーン製品購入率)	-	-
環境配慮設計の推進	件	技術	3	8	<b>8</b>	100	○
仕損の低減	千円	生管	123	207	<b>302</b>	69	×

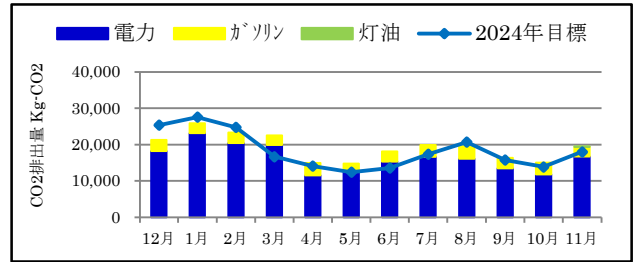
## 6.1 二酸化炭素排出量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
209,800Kg-CO <sub>2</sub>	231,672Kg-CO <sub>2</sub>	95% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標未達成。</li> <li>・目標未達成となったものの、本社、北海道の事務所移転、八戸のエアコン更新効果、ガソリンの削減により前年よりは減少しました。</li> <li>・二酸化炭素排出に起因する電力は 2/4 拠点、ガソリンは 2/3 拠点、灯油は 0/1 拠点の達成状況でした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン(太陽光発電含む)など省エネ設備への転換を推進します。</li> <li>・電力使用が二酸化炭素排出量に大きく寄与する為、引き続き省エネ行動を啓蒙します。</li> <li>・本社の社有車更新に際しては省エネ車を考慮します。</li> </ul>	




【年度別推移】



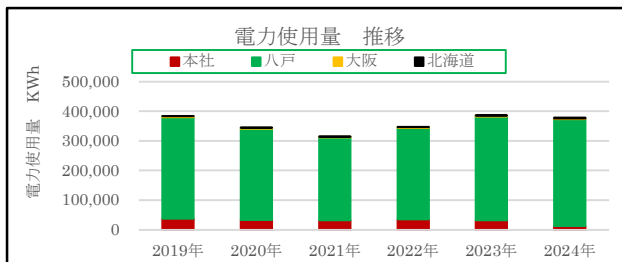
【2024年月別実績推移】



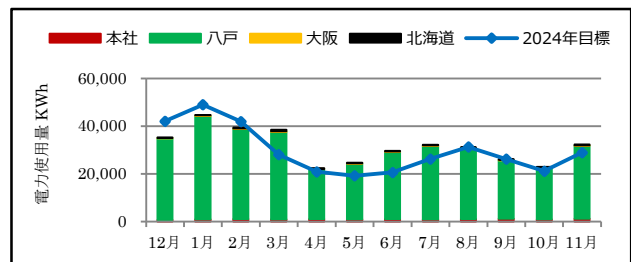
## 6.2 電力使用量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
355,663KWh	379,057KWh	94% / △	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標未達成。(大阪、本社：達成、八戸、北海道：未達成)</li> <li>・八戸は前年のエアコン更新により、前年比は減少となりました。</li> <li>・本社、北海道は事務所移転による環境変化がありました。</li> <li>・大阪は省エネ設備への更新効果がありました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの運転管理、循環扇/サーキュレーターの活用を引き続き行います。</li> <li>・八戸はエアコンの更新計画、電力の自給自足の検討をします。</li> <li>・八戸、大阪は遮熱/遮光ブラインドの設置を行います。</li> </ul>	

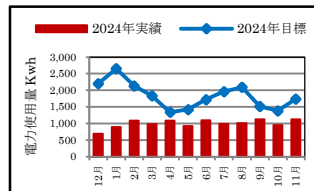
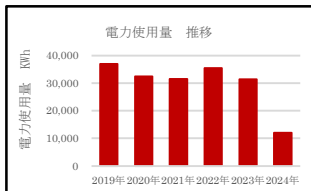
【年度別推移】



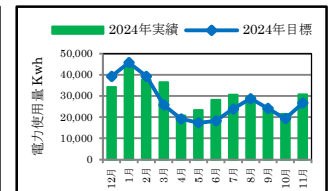
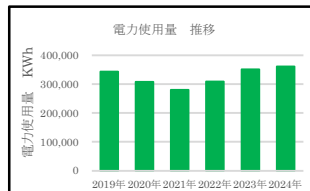
【2024年月別実績推移】



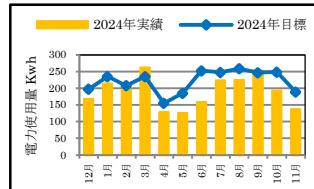
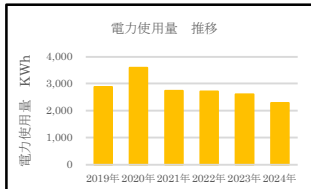
【拠点別推移】  
〈本社〉



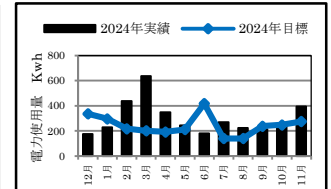
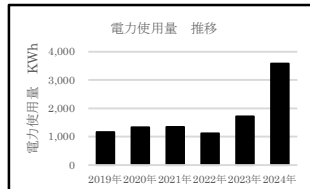
〈八戸〉






〈大阪営業所〉



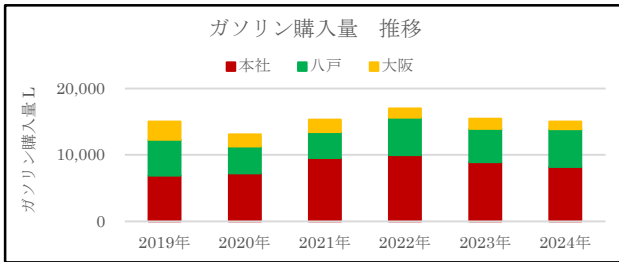
〈北海道営業所〉



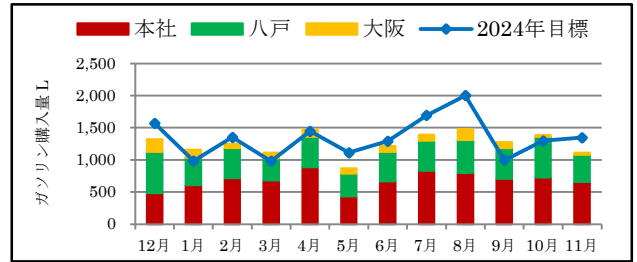
### 6.3 ガソリン購入量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
16,224 L	15,126L	106% / ○	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成。(八戸のみ未達成)</li> <li>・省エネ運転の啓蒙、公共交通機関の利用など、意識して活動しました。</li> <li>・八戸は社有車の使用頻度の増加から目標未達成となりました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの啓蒙を継続します。</li> <li>・車の適正運用（遠距離使用での考慮）及び効率的運用を考慮します。</li> </ul>	

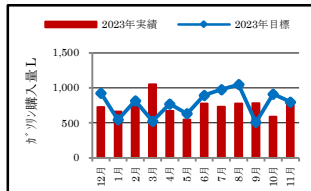
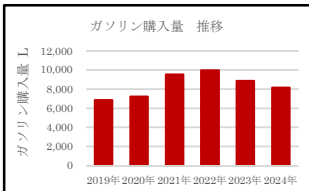
【年度別推移】



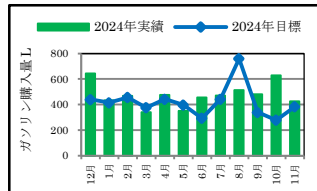
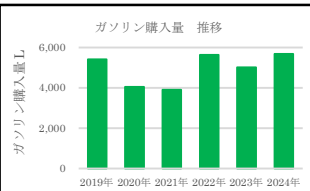
【2024年月別実績推移】



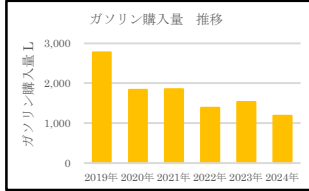
【拠点別推移】  
〈本社〉






〈八戸〉



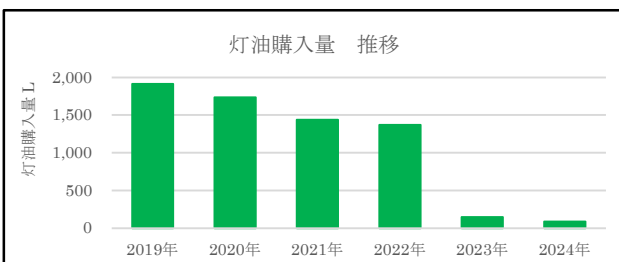
〈大阪営業所〉



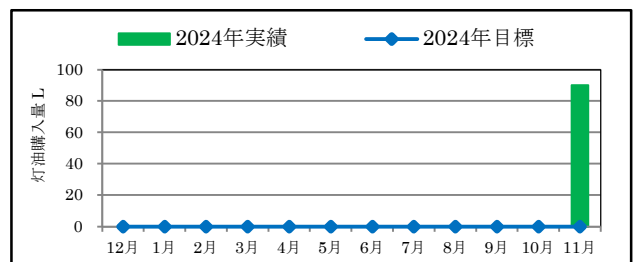
### 6.4 灯油購入量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
0 L	90L	0% / ×	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標未達成。</li> <li>・前期エアコン暖房への切替えを行ったことから購入量ゼロ目標としましたが、別用途でのヒーター使用があり、目標未達成となりました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・別用途での使用が今後も継続することから、目標値の見直しを行います。</li> </ul>	

【年度別推移】



【2024年月別実績推移】



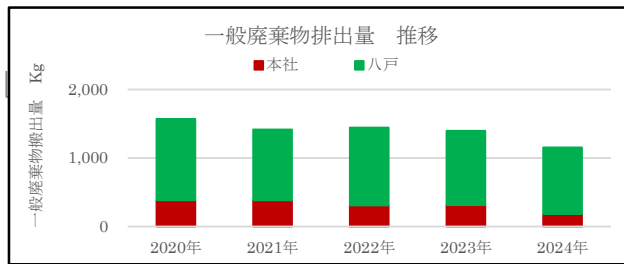


## 6.5 廃棄物排出量

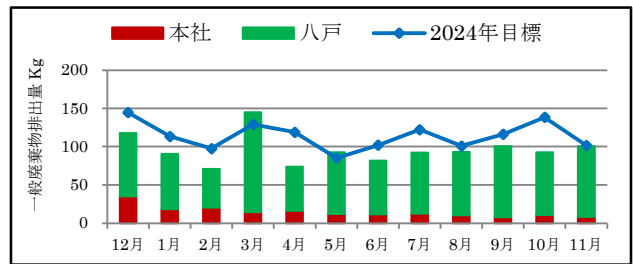
### 6.5.1 一般廃棄物

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
1,370Kg	1,152Kg	119% / ○	11 持続可能な消費生活 12 持続可能な生産消費
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成。(本社、八戸とも目標達成)</li> <li>本社は移転したビルの分別徹底に伴う、分別を行いました。</li> <li>八戸は紙類の分別が徹底してきました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き廃棄物の分別を行います。</li> </ul>	

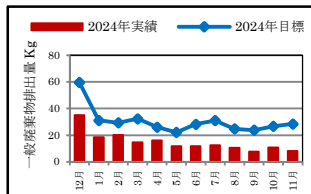
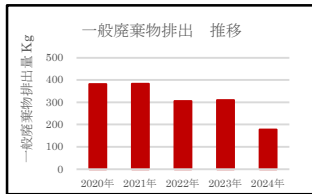
【年度別推移】



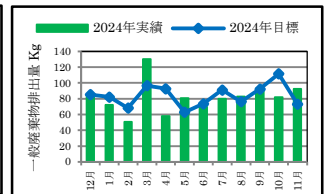
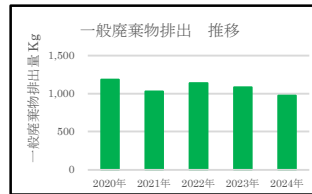
【2024年月別実績推移】



【拠点別推移】  
〈本社〉



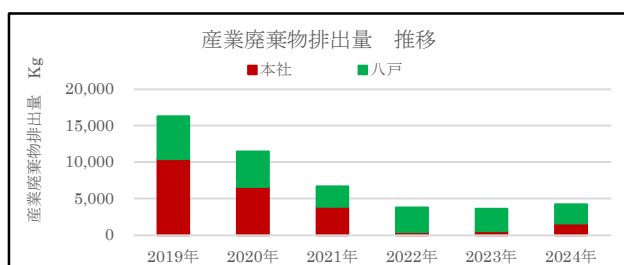
〈八戸〉



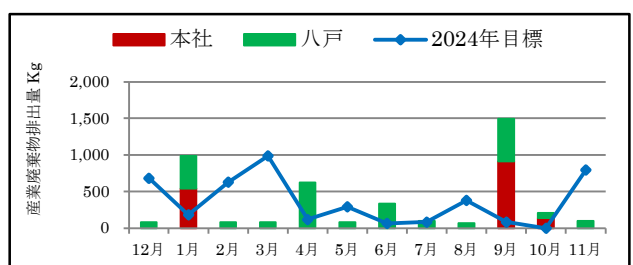
### 6.5.2 産業廃棄物

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
4,437Kg	4,240 Kg	102% / ○	9 持続可能な消費生活 11 持続可能な消費生活 12 持続可能な生産消費
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成。(本社:達成、八戸:未達成)</li> <li>八戸は分別として金属端材の他に廃棄物から有価物への転換として、電線、基板など 1,014Kg を売却することができ、排出量の削減につながりました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き有価物への転換を推進します。</li> </ul>	

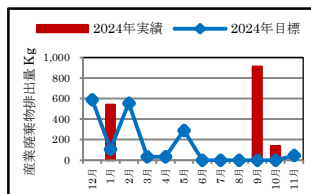
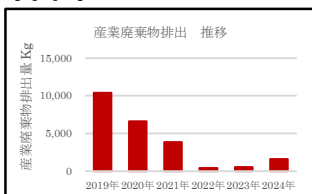
【年度別推移】



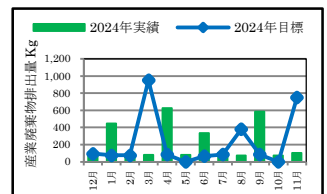
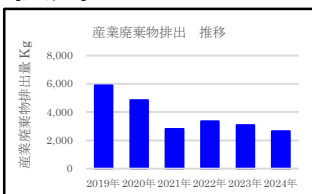
【2024年月別実績推移】



【拠点別推移】  
〈本社〉






〈八戸〉

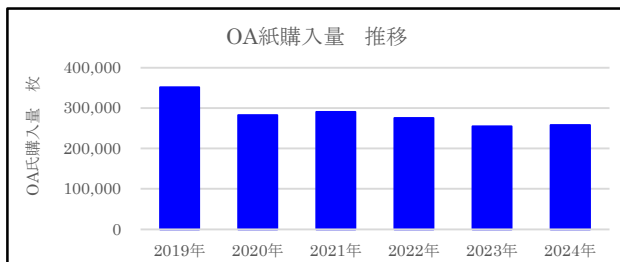


## 6.6 省資源

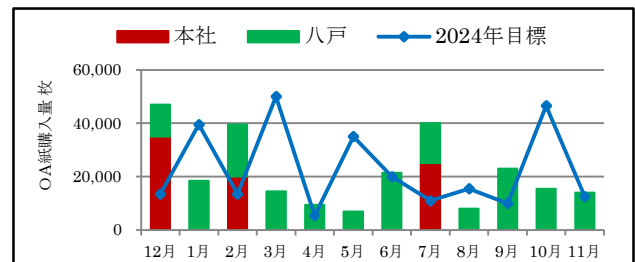
### 6.6.1 OA紙購入量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
272,500 枚	258,000 枚	106 % / ○	  
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成。(本社：未達成、八戸：達成)</li> <li>・ミスコピーの啓蒙や展示会での資料の提供の変更を継続し、削減を図りました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミスコピーの啓蒙、資料提供の変更は引き続き継続します。</li> <li>・来期以降は日々の対応とし管理項目からは除外します。</li> </ul>	

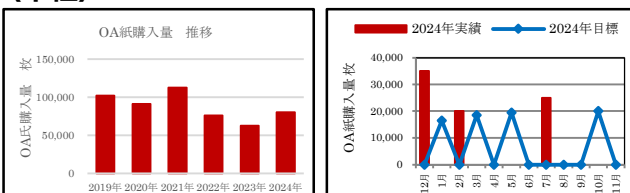
#### 【年度別推移】



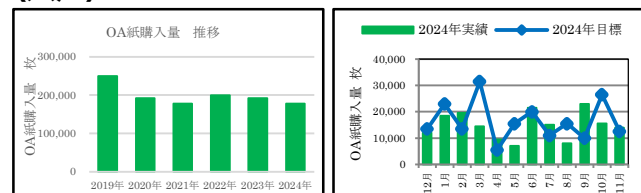
#### 【2024年月別実績推移】





#### 【拠点別推移】 〈本社〉



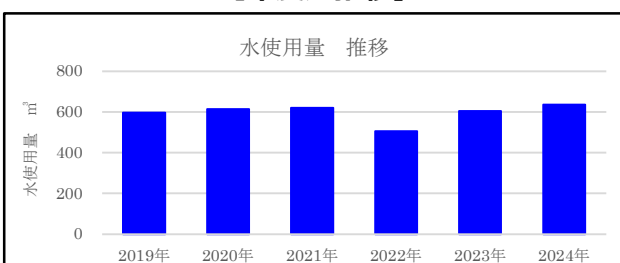
#### 〈八戸〉



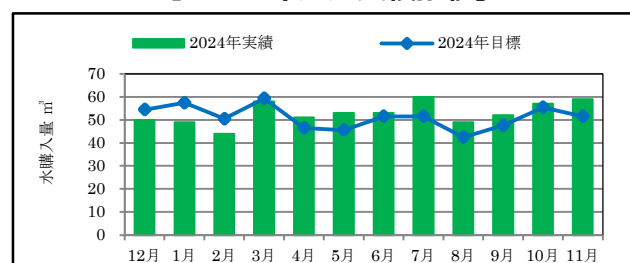
### 6.6.2 水使用量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
614 m <sup>3</sup>	635 m <sup>3</sup>	97 % / △	 
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標未達成。</li> <li>・水使用はトイレ、生活水が主な為、掲示による節水の啓蒙活動は継続しました。</li> <li>・今期は定期的（毎月）に製品試験での使用が発生し、増加となってしまいました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き啓蒙活動を継続します。</li> <li>・定期的な使用が継続するため、目標値の見直しを行います。</li> </ul>	

#### 【年度別推移】



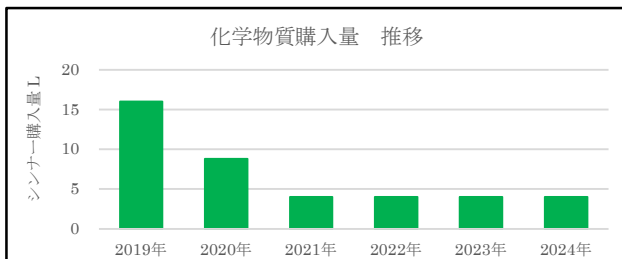
#### 【2024年月別実績推移】



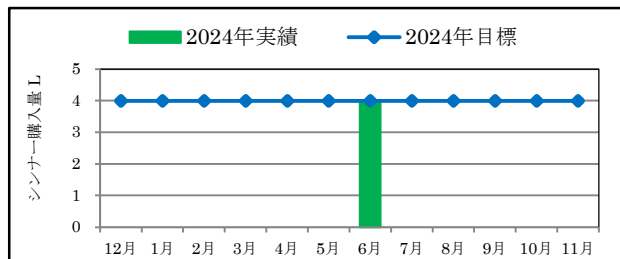
## 6.7 化学物質購入量

2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価	SDGs
4 L	4 L	100 % / ○	
結果		今後の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成。</li> <li>・製品としてシンナーがありますが、素材の洗浄用として使用しており、最小限の購入を行いました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き最低限の購入を行っていきます。</li> </ul>	

【年度別推移】



【2024年 実績推移】



## 6.8 各部門の環境改善実績

達成率での評価。評価：100%以上“○”、99~80%“△”、80%未満“×”

### 【総務部】

改善項目	2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価
グリーン調達推進	グリーン製品の優先購入	グリーン製品購入率 53% (338/639)	-
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進活動の為、評価外</li> <li>・総務管轄の物品はグリーン製品を意識しての手配を行いました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来期以降は日々の対応とし管理項目からは除外します。</li> </ul>	




### 【技術部】

改善項目	2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価
環境配慮設計の推進	8件	8件	100 % / ○
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成。</li> <li>・小型化製品設計1件、省電力製品設計3件、環境へ配慮した仕様製品の提案4件の提案ができました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計負荷の閑散期/繁忙期にとらわれることなく、環境配慮設計を意識し、継続的に取組みます。</li> </ul>	

### 【生産管理部】

改善項目	2024年(79期)目標値	実績	達成率/評価
仕損費の低減	207千円	302千円	69% / ×
結果		今後の取組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標未達成。</li> <li>・管理対象を仕損から仕損+後工程不適合に変更した結果、不適合費用が増加し、下期に目標値の見直しを行いました。しかし製造、板金共に件数が多い結果となりました。特に製造課の後工程不良の件数が、前期より17件増えてしまい、費用の増加につながりました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質活動計画に連動して取組みます。特に板金課、製造課で新たに取組みを開始している合同品質会議を通してより多くの視点、より多角的な視点で議題について話し合い、その活動を継続することで品質向上に努めます。</li> </ul>	

## 6.9 その他の環境関連活動

地域活動		敷地内活動
川崎銀柳街清掃活動への参加	八戸ハイテクパーククリーン作戦への参加	清掃活動と旭光農園
川崎市生活環境部減量推進課が主催する清掃活動に参加し、商店街の美化に貢献しました。	八戸グリーンハイテクランド内および周辺の清掃活動に参加し、ハイテクパークの環境美化に貢献しました。	八戸事業所内の清掃活動と旭光農園を整備し環境維持に努めました。
		

## 6.10 環境経営目標及び環境経営計画の総括

総括	評価
<p>【今期の活動について】</p> <p>中期環境経営目標最終年の活動に当たり、本社、北海道の事務所移転、八戸第二工場の年間データ取得に伴い電力使用量の目標見直しを行い活動しました。また、環境経営計画の設備に関する事項は「CO<sub>2</sub> 排出ゼロ」に向けた工程表に基づき計画しました。</p> <p>【環境経営目標】</p> <p>①達成状況：100%以上（○）14項目/24項目、100%未満～80%（△）：8/24、80%未満（×）：2/24</p> <p>②CO<sub>2</sub> 排出量の変化：目標達成率95%（但し、前年(78期)比1.3%減）、電力での排出が85%を占めます。</p> <p>CO<sub>2</sub> 排出量に関わる主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電力は全体で目標達成率94%（但し、前年(78期)比1.9%減）</li> <li>拠点別の状況は、事務所を移転した本社は、エアコンの電力使用が賃貸料に含まれたため減少、北海道は逆にビルの基礎暖房がなくなったことによる増加がありました。八戸は前年(78期)のエアコン更新の効果は確認できましたが、工場稼働率の増加等で91%の達成状況となりました。</li> <li>ガソリンは全体では目標達成となりましたが、八戸は社有車の使用頻度の増加から目標未達成となりました。</li> <li>灯油はエアコン暖房への切換えにより暖房使用はゼロとなりましたが、別用途でのヒーター使用があり目標未達成となりました。この別用途での使用は今後も発生する事案である為、目標値の見直しが必要となります。</li> </ul> <p>その他の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水購入量も定期的(毎月)な製品試験での使用がある為、目標値の見直しが必要となります。</li> <li>その他の項目は全体では目標達成となりました。部門の改善活動は生産が目標未達成、技術は目標達成となりました。</li> </ul> <p>【環境経営計画】</p> <p>①設備に関する計画：八戸のエアコン更新(2回目)、第二工場への太陽光発電設置、浄化槽曝気ポンプのインバータ化 前回指示のあったEV車の導入検討</p> <p>②実施状況：八戸のエアコン、第二工場の太陽光発電設置は補助金に関係し延期となりました。浄化槽曝気ポンプのインバータ化は費用対効果から再検討としました。EV車の導入は、太陽光発電の設置を優先とし延期としました。</p> <p>③その他、本社、大阪においては冷蔵庫を更新し、省エネにつなげました。</p> <p>【まとめ】</p> <p>今期は設備導入や更新のない中で人の手による運用面での活動となりまして、CO<sub>2</sub> 排出量が前年(78期)より削減できたことは評価できます。</p> <p>【次年度に向けて】</p> <p>来期は、新たな環境経営方針及び中期環境経営計画に基づく活動になる為、今期の活動結果を踏まえ、活動項目及び目標値の再設定を行い活動します。</p>	○

## 7. 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果及び外部コミュニケーションの結果

### 7.1 環境関連法規制等の遵守状況の確認結果

法規制	内容	確認結果	評価
消防法	①消防設備の定期点検 ②消防訓練実施	①八戸は5月、11月に点検を実施し異常はありませんでした。本社は8月、北海道は7月、9月、大阪は11月にビルにて点検を実施しています。 ②本社は5月、11月に訓練を実施し手順に問題はありませんでした。八戸は冬期間の実施を計画します。	遵守
産業廃棄物処理法	①許可証の有効性 ②マニフェスト交付保管 ③マニフェスト交付等状況報告書	①許可証の有効期限切れはありませんでした。 ②マニフェストの保管に問題はありませんでした。 ③本社、八戸とも期限内に提出され問題ありませんでした。	遵守
浄化槽法	①法定検査実施 ②保守点検	①八戸及び設計棟は2024年1月、第二工場は2023年12月に検査を実施し水質等に異常はありませんでした。 ②八戸及び設計棟は2023年12月、2024年3月、6月、9月、第二工場は2024年1月、3月、5月、7月、9月、11月に保守点検を実施し、必要事項に対しては処置を行いました。	遵守
騒音規制法	①自治体への届出 ②規制基準の遵守	①必要な届出はありませんでした。 ②八戸市の規制値内(第4種区域)を確認しました。	遵守
振動規制法	①自治体への届出 ②規制基準の遵守	①必要な届出はありませんでした。 ②八戸市の規制値内(第2種区域)を確認しました。	遵守
水質汚濁防止法	①貯油施設の自主点検	①2023年12月、2024年3月、6月、9月に自主点検を実施し異常はありませんでした。	遵守
エネルギーの使用の合理化等に関する法律	①エネルギーの使用合理化	①IAアクション21活動実施表により実績を把握していました。	遵守
地球温暖化対策の推進に関する法律	①事業活動に伴う排出抑制	①IAアクション21活動実施表により実績を把握していました。	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律	①リサイクルルートに従った廃棄	①対象品はありませんでした。	遵守
特定家庭用機器再生商品化法	①法律に基づく処理	①対象品はありませんでした。	遵守
使用済み自動車の再資源化等に関する法律	①法律に基づく処理	①対象車はありませんでした。	遵守
ポンプ類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	①エアコンの簡易点検 ②法律に基づく処理	①2023年12月、2024年4月、6月、10月に簡易点検を実施し問題はありませんでした。 ②2024年5月に室外機3を実施し問題はありませんでした。	遵守
労働安全衛生法	①特定自主検査 (ア) 月次自主検査	①第二工場は5月、八戸は6月にフォークリフトの特自検を実施し異常はありませんでした。 ②フォークリフトの月次検査で異常はありませんでした。	遵守

\* 法令違反や関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

### 7.2 環境関連法規制に関する最新版確認結果

確認結果	評価
年4回(2月、5月、8月、11月)改正状況の確認を行った結果、39件の法律/政令/省令、7件の条例/規則の改正がありました。当社の事業活動に直接影響を及ぼす改正はありませんでした。 次期以降、適用する環境関連法規制の見直しを行います。	○

### 7.3 外部コミュニケーションの結果

確認結果	評価
2023年12月～2024年11月までの期間において本社及び工事関連、八戸事業所(設計棟、第二工場含む)、大阪営業所、北海道営業所において、苦情はありませんでした。	○

## 8. 次期以降の活動について

### 8.1 2025（80期）環境経営方針

2025年(80期)に環境経営方針を見直し、新たな活動に取り組めます。[青字が新たな項目](#)

## 環境経営方針

### 環境理念

環境保全が社会共通の最重要課題の一つであることを認識し、当社の経営理念に基づき環境に配慮した商品を維持、改善するとともに環境保全に努める活動に取り組む。

### 基本方針

鉄道、道路関連分野での通信機器、システム等の情報連絡機器の設計、製造、販売並びに工事を事業の柱とし、以下の方針に基づいて環境経営を行う。

1. 環境負荷低減を図る為、環境経営システムを構築し、継続的改善を図ると共に環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守する。
3. 環境負荷低減の為、以下の項目を環境活動の重点テーマとして取り組む。
  - 1) 省エネルギー（特に電力）を推進し、二酸化炭素排出量低減を図る。
    - ①電力の自給自足を追求する。
    - ②省エネルギー設備の更新/導入を推進する。
  - 2) 環境負荷低減に関する改善活動を推進する。
    - ①環境配慮設計の推進
    - ②工程内不適合（仕損、社内後工程）の低減を図る。
    - ③塗料の揮発性有機化合物（VOC）の排出量削減を図る。
4. 地域活動への参画を推進する。
5. 環境経営方針は全従業員に周知し、環境意識向上に努める。

制定：2019年12月1日

改訂：2024年12月1日

旭光通信システム株式会社  
代表取締役社長 酒井 元晴

## 8.2 2025年(80期)目標値

2025年(80期)から2027年(82期)は新たな中期経営計画として活動します。青字は新たな管理項目

取組項目	単位	部門	2024年実績 (基準)	2025年目標	2026年目標	2027年目標
CO <sub>2</sub> 排出量削減*1	Kg-CO <sub>2</sub>	全体	208,649 (231,465)	206,072	201,790	196,184
電力使用量削減	Kwh	全体	379,057	371,595	363,412	352,381
		本社	11,957	11,950	11,711	11,592
		八戸	361,230	354,005	346,781	335,944
		大阪	2,285	2,280	2,234	2,212
		北海道	3,585	3,360	2,686	2,633
ガソリン購入量削減	L	全体	15,037	15,020	14,654	14,423
		本社	8,168	8,005	7,923	7,760
		八戸	5,682	5,680	5,569	5,512
		大阪	1,186	1,180	1,162	1,151
灯油購入量削減	L	八戸	90	600	600	600
一般廃棄物削減	Kg	全体	1,152	1,140	1,127	1,115
		本社	178	175	172	170
		八戸	974	970	955	945
産業廃棄物削減	Kg	全体	4,240	4,230	4,151	4,109
		本社 工事含む	1,591	1,590	1,558	1,542
		八戸	2,649	2,646	2,593	2,567
水使用量削減	m <sup>3</sup>	八戸	635	670	670	670
揮発性有機化合物削減(社内)	L	八戸	4	4	4	4
揮発性有機化合物削減(塗料)*3	缶	全社	-	実績把握	目標値設定	目標値設定
環境配慮設計の推進	件	技術	8	10	11	12
不適合の低減	千円	生管	302	272	245	221
	千円	技術*3	-	実績把握	目標値設定	目標値設定
残業時間の削減	時間	生管	5,329	4,796	4,556	4,328
	時間	品証	3,422	3,080	2,926	2,780
地域貢献(地域清掃)	件	総務	2	2	2	2
地域貢献(工場見学)*4	受入率	総務	受入率 91%	受入率 100%	受入率 100%	受入率 100%

\*1 排出係数は、R6.5.19 (R6.7.19 一部追加・修正) の調整後排出係数 (本社は東京電力エナジーパートナー(株)、八戸は東北電力(株)、大阪は関西電力(株)北海道は北海道電力(株)) を使用。2024年実績(基準)の上段はR6.5.19の排出係数で算出した値。下段は前回使用のR4.1.7の排出係数で算出した値。

\*2 協力会社1社体制から2社体制への変更による実績把握後、2026年から目標設定を行う。

\*3 やり直し(再製作含む)が発生したもの(材料費、処理費、部品費、工数)を対象とし、実績把握後、2026年から目標設定を行う。

\*4 インターシップの受入含む。

## 9. 経営者による評価と見直し指示

### 9.1 前回の指示に対する取組み結果

見直し項目	前回の見直し指示内容	指示内容に対する取組み結果
環境経営方針	①方針の変更はありません。	—
環境経営目標及び環境経営計画	①八戸事業所本工場のエアコン更新を継続して実施して下さい。 ②第二工場への自家消費型ソーラーシステムの導入計画を進めて下さい。 ③本社はレンタカー/カーシェアの移行に伴うガソリン購入量の把握方法を検討して下さい。 ④EV 軽貨物車の導入計画を立案して下さい。 ⑤業務に直結する顧客クレーム、社内不具合の是正を図って下さい。	①補助金を活用しエアコン更新を計画したが、不採択となり今期は実施できませんでした。 ②補助金を活用による導入を計画したが、当社に適する補助金がなく今期は実施できませんでした。 ③当社で把握できる範囲での管理(カリリカードによる請求)としました。 ④EV 車の検討は、太陽光発電の設置を優先とし延期としました。 ⑤事業活動とリンクした取組として実施しましたが、目標未達成となりました。引き続き事業活動の一環として取組みます。
実施体制	①中途採用者も増えている中で活動の浸透を図って下さい。	①中途採用者への入社時教育の一環として計画しました。
その他	①エコアクション 2 1 推進委員会で環境活動について議論し、本社、各営業所への展開を促して下さい。	①今期は川崎銀柳街清掃活動への参加し、地域貢献へつなげました。

### 9.2 経営者による評価

経営者による評価
<p>2024 年（79 期）環境経営目標の達成状況は、灯油使用量、工程内仕損費が未達であったものの、全体の CO<sub>2</sub> 削減に大きく影響を及ぼすものではないと判断しております。注視しなければならない項目として電力使用量の未達（達成度：△）については、生産増や第二工場の設備において夜間無人稼働を開始したことが影響していると分析しております。無人化を進めれば人工は削減できますが、今後の人不足対策を考えると無人化設備の導入は CO<sub>2</sub> 削減と相反する場面も出てきます。今期に実行出来なかった太陽光システムやエアコンの更新といった設備投資を計画的に実行していくことが、抜本的な CO<sub>2</sub> 削減への策と考えております。事業の健全性と投資タイミングを見計らい 2030 年までに電力の自給自足を目指していく活動を引き続き推進していきます。</p> <p>その他、特出する事項として、今期は本社と北海道営業所の事務所移転を実施しました。特に本社移転は、テレワークなど外部で仕事ができる仕組みが浸透し、一人当たりの床面積にゆとりが出て来たことで移転を実施し、大きく CO<sub>2</sub> 削減に貢献できました。</p> <p>エコアクション 21 の活動は高いレベルで運営が出来ており、今後においては、八戸事業所第二工場のさらなる本格稼働に伴い、増加した総電力使用量を稼働前の水準まで削減すべく、各部門のエコアクション 21 推進委員を中心とし、全社員ひとり一人の参加による実効性のある活動を展開していきます。</p>

### 9.3 経営者による見直し指示

項目	評価	見直し指示内容
環境経営方針	活動の展開において環境経営方針に沿った活動となっていることを確認しました。	○
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標の達成状況は、活動の成果が出ていると判断します。	○
実施体制	若手社員を中心とした EA21 推進委員の活動は意見も出るようになり大きく貢献してくれています。	○
その他	環境整備活動など継続的に実施されていることが確認できました。	○
		2022 年（76 期）からの中期経営計画が終了しました。来期からは活動結果などを踏まえ、環境経営方針の見直しを行い、新たな中期経営計画をスタートします。それに基づき、中期経営目標/計画を立案し次のステップの活動を推進して下さい。特に塗料の見直しを行い、化学物質の削減を図って下さい。
		評価できるレベルとなり、これ以上大幅な改善は設備投資が前提となりますが、まずは現状を維持するとともに、改善と工夫は引き続き実施して下さい。最終的には工場においては自給自足を目指します。
		なし
		なし